

都道府県別生命表について

(1) 生命表とは

生命表とは、ある人口集団の死亡状況が今後変化しないと仮定したときに、各年齢の者が死亡する確率や平均してあと何年生きられるかという期待値などを死亡率や平均余命などの指標によって表したものである。

これらの指標は、男女別に各年齢の死亡数と人口を基にして計算しており、ある人口集団の年齢構成には左右されず、死亡状況のみを表している。したがって、ある人口集団の死亡状況を厳密に分析する上で不可欠なものとなっている。また、0歳の平均余命である「平均寿命」は、ある人口集団の全ての年齢の死亡状況を集約したものとなっており、保健福祉水準を総合的に示す指標として広く活用されている。

(2) 都道府県別生命表

都道府県別生命表は、人口動態統計及び国勢調査のデータを用いて、5年ごとに作成しており、昭和40年(1965)より通算して今回が12回目となる。都道府県別生命表は、死亡状況を都道府県単位で比較分析するために不可欠なものとなっている。

なお、都道府県別生命表に掲載されている全国値は都道府県の値との比較の観点から、各都道府県と同様の方法で算出しており、完全生命表の算出方法及び結果とは異なったものとなっている。全国における死亡状況を表したものとしては、完全生命表を用いるのが適切である。

(3) 基礎資料

令和2年都道府県別生命表は、小地域における死亡数の偶然変動の影響を少なくするために、人口動態統計(確定数)による日本における日本人の死亡数(令和元年～3年)及び出生数(平成30年～令和3年)、令和2年国勢調査による日本人人口(確定数)を基礎資料としており、令和元年～3年の都道府県別の日本人の死亡状況を表している(なお、簡易生命表及び完全生命表は、人口動態統計における単年の死亡数及び2年分の出生数を基礎資料としている)。

<利用上の注意>

(1) 表章記号の規約

計数不明または表章することが不適当な場合	…
計数が微小(0.005未満)の場合	0.00

(2) 表示数値が同じであった場合、表示桁以下の数値を基に順位付けを行っている。

(3) 表示の桁に満たない端数については、掲載時に四捨五入している。

(4) 公表している生命表の資料は次のとおりである。

簡易生命表(基幹統計) 作成頻度:毎年	完全生命表(基幹統計) 作成頻度:5年ごと	都道府県別生命表 作成頻度:5年ごと	市区町村別生命表 作成頻度:5年ごと
作成方法:推計人口による日本人人口、人口動態統計(概数)をもとに作成	作成方法:国勢調査による日本人人口(確定数)、人口動態統計(確定数)をもとに作成	作成方法:国勢調査による日本人人口(確定数)、国勢調査年を含む前後3年間の人口動態統計(確定数)をもとに作成	作成方法:国勢調査による日本人人口(確定数)、国勢調査年を含む前後3年間の人口動態統計(確定数)をもとに作成

※本概況は太線の部分である。